

そうふけっぱらのキツネに会う散策シリーズ第一回 秋の草花と虫の声



9月22日の土曜日、風のさわやかな秋日和の夕方から、そうふけっぱらのキツネに会う散策シリーズ、第1回「秋の草花と虫の声」を開催しました。講師は、ユーモアとウイットに富んだお話で、こどもから大人まで魅了する河辺久男先生。キツネに会えるかもしれないということで、そちらを期待してきた方々も。小さなお子さん連れの家族も9組参加して、原っぱの虫とりから、はじまりです。

← みんなでよーいどん、バッタ探しです。10分間でどれくらいとれるかな。

どんなバッタがとれたか、先生から教わりました。虫かごいっぱい捕まえた子もいました。

↓ お互いみせあっこ。どっちのバッタが大きい？





造成地と昔からある原っぱの違いを指摘。
ブルドーザーで削ったところの植生はとても貧弱です。隣どうして、昔からの原っぱの草花と造成地の草花が見られるのが千葉ニュータウンの不思議です。



さあ、ここは、亀成川。この川が、ニュータウン造成のために拡幅工事されるのに反対して結成した私たちの会、亀成川を愛する会の出番です。

会のなりたちやこれまでの活動を紹介しました。

ここは、平成22年度の工事かしよ。すでに工事が決まっていた場所でした。工事を止めたり、23年度のように土水路にすることはできませんでしたが、千葉県河川課とURの理解により、かごマットの間に土留めとなる板を入れていますので、瀬切れはしていません。

この写真の向こうに広がるのが21住区。生き物のサンクチュアリです。

ぜひ、この貴重な生態系を残したいと話に熱が入ります。



このくさっぱらで、耳を傾けました。いろいろな虫の合唱に、しばし、うっとり。どんな虫の声が聞こえたかは、参加者のお楽しみです。ニュータウンの公園(最初にバッタとりをした牧原公園や21住区内にできる別所第二公園でも、このすてきな虫たちの声が聴けるよう、ぜひ、このくさっぱら(植生)を残したいものです。公園にもこのような植生帯を作ることを提案していきましょうと確認しました。いまだき、昔ながらの虫の声を聴ける公園なんて、すごい価値ではありませんか。さて、ここでは、コオロギもいっぱいできて、たちまち、虫取りになりました。



← こちらは外来のアオマツムシのかしましい場所。声は聞けども姿は見えじ。懐中電灯片手にみんなで探しましたが、とうとう見つけることはできませんでした。

↓ 終わったときは、6時半。どっぷり日も暮れていました。次回10月20日のケビンさんの「秋の実」にもぜひおいでください。

